

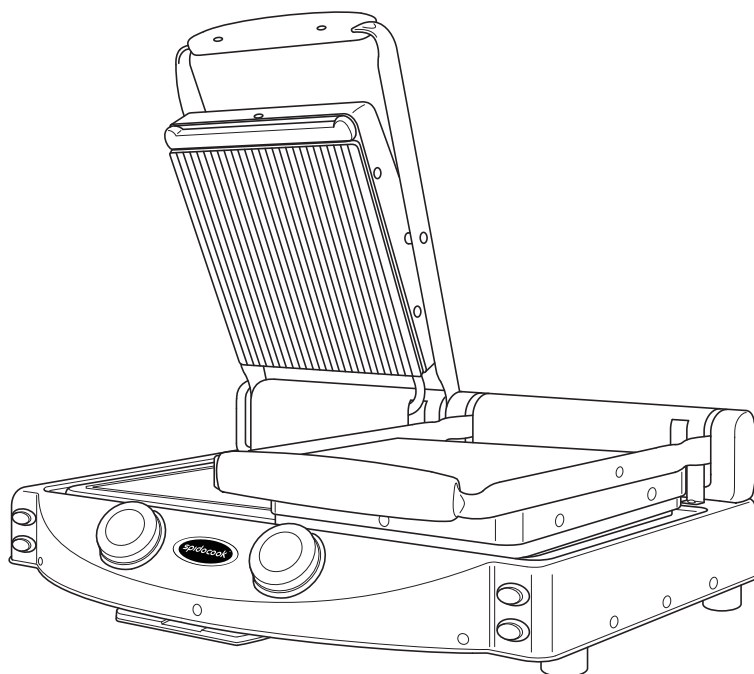
パニーニ・グリラー

PGS-1 (100)

PGS-2 (業務用)



## 取扱説明書



PGS-2

このたびは、当社のパニーニ・グリラーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

据付説明付

# もくじ

## 本製品をお使いになる前に..... 1

|                    |   |
|--------------------|---|
| 安全上のご注意.....       | 1 |
| 据付け時の警告 .....      | 2 |
| 操作時の警告 .....       | 3 |
| 移設・廃棄時の警告 .....    | 4 |
| 据付け時の注意 .....      | 4 |
| 操作時の注意 .....       | 5 |
| 転売や譲渡するときの注意 ..... | 6 |

## 各部の名称..... 7

## 操作のしかた..... 8

## お手入れについて..... 12

## 据付けについて..... 14

## 仕様..... 16

|              |    |
|--------------|----|
| 梱包内容一覧 ..... | 16 |
|--------------|----|

## 保証書(別添付)について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間..... 17

# 本製品をお使いになる前に

## 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

### 表示と意味は次のようになっています。

#### 【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

|                                                                                             |                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|  <b>警告</b> | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。    |
|  <b>注意</b> | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。 |

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

#### 【図記号の例】

|                                                                                               |                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>感電注意    | △は、注意(警告を含む)を示します。<br>具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。<br>左図の場合は「感電注意」を示します。              |
| <br>接触禁止   | ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。<br>具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。<br>左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。    |
| <br>プラグを抜く | ●は、行動の命令(強制)を示します。<br>具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。<br>左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。 |

## 警告

### 据付け時の警告



専門業者

**据え付けは、お買上げ店または専門業者に依頼すること**

不備があると、感電、火災の原因になります。



アース線接続

**アース線を必ず接続すること**

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

**PGS-1(100)の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに接続すること**

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

**PGS-2の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること**

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

**電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること**

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

**屋外で使用しないこと**

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



水禁止

**水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと**

本体や電源コードに水がかかると、漏電、感電の原因になります。



禁止

**電源コードや電源プラグ(電源プラグを使用の場合)を傷つけないこと**

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

## 操作時の警告



連絡

漏電遮断器またはサーキットブレーカーが「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ(電源プラグを使用の場合)が破損している場合は、本機を使用せずに、すぐにお買上げ店へ連絡すること

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

異常時は電源プラグ(電源プラグを使用の場合)を抜くか、本機専用電源を「OFF(切)」にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。



連絡

温度コントロールしない(ヒーター作動ランプが消灯しない)場合は、必ず本機の専用電源を「OFF(切)」にし、お買上げ店へ連絡すること

火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し危険です。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

焼成プレートにひび割れが生じたときは、電源スイッチを切り、電源プラグ(電源プラグを使用の場合)を抜くか、本機専用の電源を「OFF(切)」にし、お買上げ店へ連絡すること

使用を続けると、ケガや感電、故障の原因になります。



禁止

本機の上や周囲に、燃えやすい物や熱で変形する恐れのある物は置かないこと  
火災の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと  
ショート、感電、錆、故障の原因になります。



接触禁止

本機使用中は、本体の外側も高温になりますので、押付けレバーのハンドル部や操作部以外には触れないこと  
やけどの原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解をしたり、修理はおこなわないこと  
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと  
改造をされると、液漏れや感電、火災の原因になります。

## 移設・廃棄時の警告



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること  
据え付け不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること  
放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。



## 注意

## 据付け時の注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること  
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガや故障の原因になります。



周囲空ける

本機の外側も使用中に高温になりますので、風通しのよい所で、本機の周囲は100mm以上空けること

熱がこもると、電気部品に影響をおよぼし、火災の原因になります。



不燃性据付台

本機は、不燃性(ステンレスなど)の据付台に置くこと

火災の原因になります。



禁止

本機の上や下に可燃性のものを置かないこと

火災の原因になります。

## 操作時の注意



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



プラグ持つ

電源プラグ(電源プラグを使用の場合)を抜くときは、必ず電源プラグを持つこと

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になります。



プラグを抜く

PGS-1(100)は、お手入れのときや点検の際、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くこと

感電、やけどの原因になります。



専用電源切

PGS-2は、お手入れのときや点検の際、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、専用電源も「OFF(切)」にすること

感電、やけどの原因になります。



接触禁止

焼成プレートが熱いうちは、直接焼成プレートに触らないこと

やけどの原因になります。



禁止

焼成プレートは、プレートスクレーパーの角でこすったり、金たわしで強くこすったりしないこと

焼成プレートに傷がつくと、割れの原因になり、ケガをする恐れがあります。



注意

プレートスクレーパーの刃は、鋭利ですので、取り扱いには充分注意すること

ケガをする恐れがあります。



刃の収納

プレートスクレーパーの使用後は、必ず刃を収納すること

誤って刃に触れた場合、ケガの原因になります。



ふき取る

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を充分ふき取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを使用の場合、ご使用後は、安全のため電源スイッチを「OFF(切)」になっていることを確認し、電源プラグも抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作確認

漏電遮断器は月に1回動作確認をすること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

## 転売や譲渡するときの注意



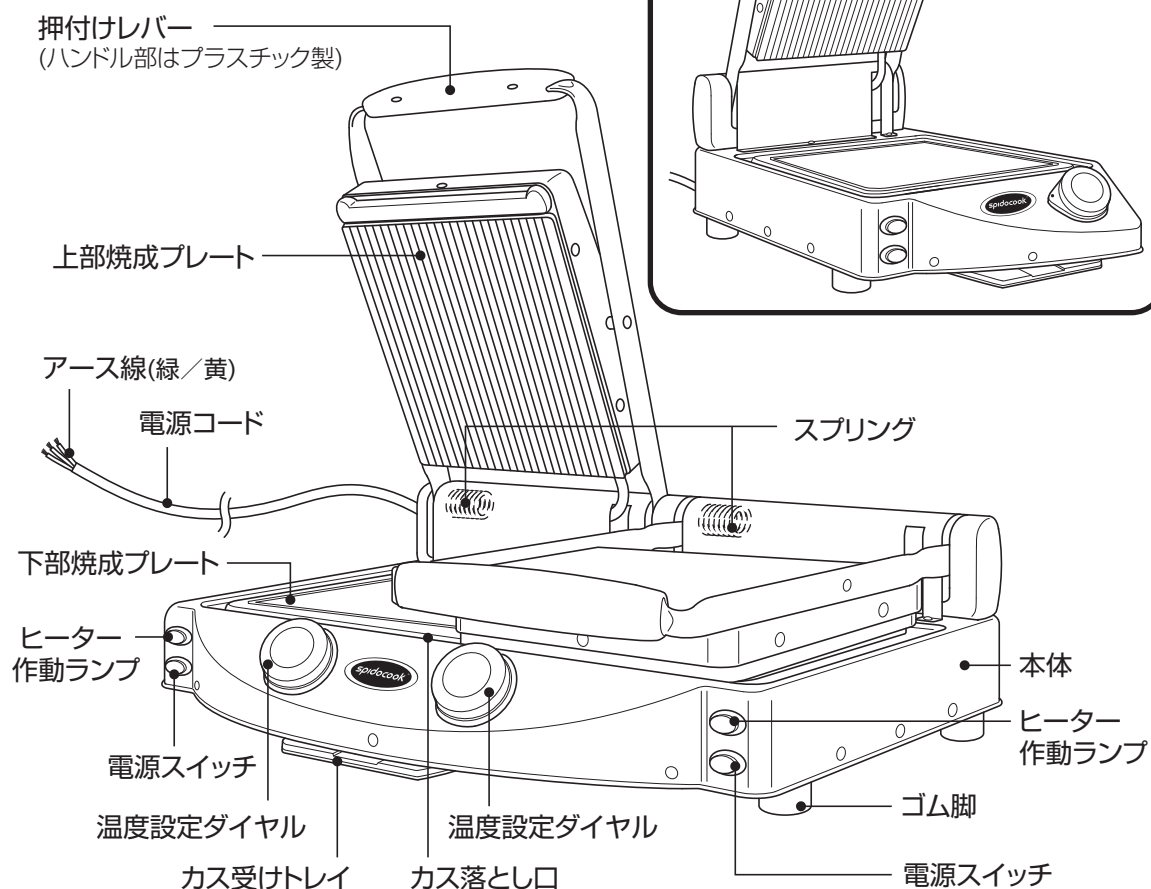
テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

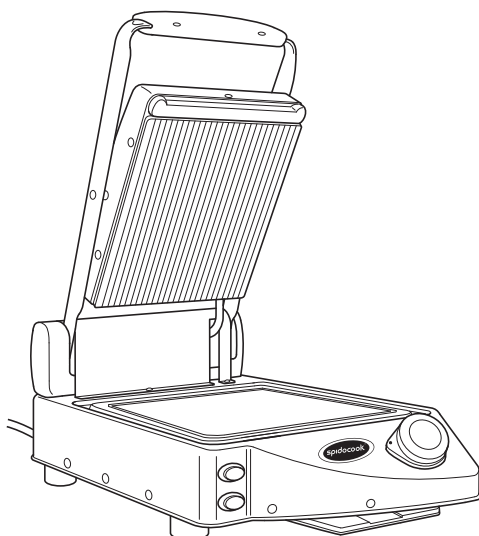
# 各部の名称

本機は、パニーニを作るための機械です

## PGS-2(2連式)



## PGS-1(100)(1連式)

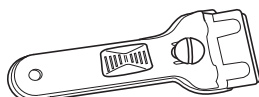


※上部焼成プレートを空で閉じたとき、本機の構造上、下部焼成プレートとの隙間が左右均等にならない場合があります。調理上は影響ありませんのでご了承ください。

金たわし:1個



プレートスクレーパー:1個



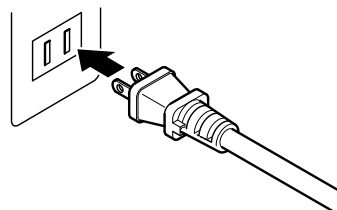
# 操作のしかた

- 1 上部と下部の焼成プレートをきれいにお手入れしてください  
→ 「お手入れについて」(12ページ)参照

## 2 本機の専用電源を入れてください

PGS-1(100)の場合

専用コンセントに、電源プラグを差し込んでください。  
機械背面のアース端子にアース線が接続されていることを確認してください。

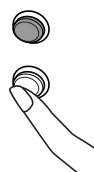


PGS-2の場合

本機専用電源を「ON(入)」にしてください。

## 3 本機の電源スイッチを押してONにしてください

PGS-2(2連式)の場合は、左右別々に電源スイッチがあります。



## 4 温度設定ダイヤルで温度を設定してください

ヒーターに通電され、ヒーター作動ランプが点灯します。

温度設定範囲は、120℃～400℃です。  
設定温度に達すると、ヒーター作動ランプは消灯します。

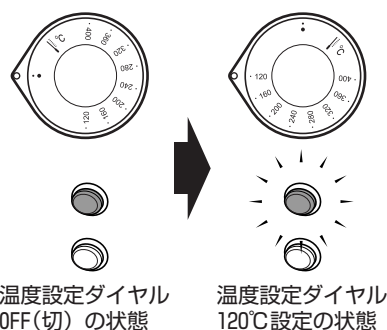
本機には、サーモスタットが付いていますので、使用中、ヒーター作動ランプが点灯、消灯を繰り返します。

設定温度よりも低くなると自動的にヒーターが入り、高くなると自動的にヒーターが切れます。

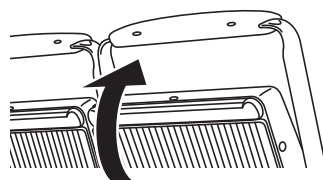
300℃に設定した場合は、設定温度に達するまで、約5分かかります。(400℃の場合は、約6分)

PGS-2(2連式)の場合は、左右別々に温度設定ダイヤルがあります。

片側だけを使用する場合は、使用しない側の電源スイッチを押して「OFF(切)」にし、温度設定ダイヤルを「OFF(切)」の状態にしておいてください。



- 5 ヒーター作動ランプが消灯しましたら、押付けレバーのハンドル(プラスチック製)を持って上部焼成プレートを上げてください

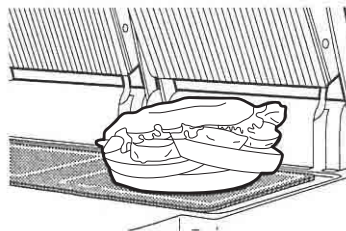


- 6 下部焼成プレートの上に、食材を置いてください

**⚠ 注意**



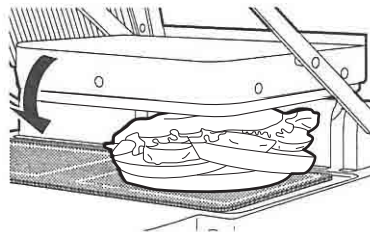
焼成プレートが熱いうちは、直接  
焼成プレートに触らないこと  
やけどの原因になります。



**お願い**

食材が薄くて小さい場合は、必ず下部焼成プレートの中央に置いてください。  
食材を下部焼成プレートの手前や奥に置くと、上部焼成プレートが斜めになり、うまく調理できない場合があります。

- 7 押付けレバーを下ろして、上部焼成プレートで食材を挟んで焼いてください

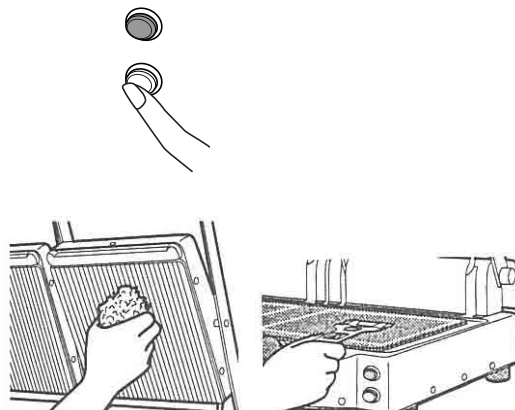


- 8 焼き上がりましたら、押付けレバーのハンドル(プラスチック製)を持って上部焼成プレートを上げて、食材を取り出してください

- 9 焼成プレートに食材が付着しているときは、本機の電源スイッチを切って、焼成プレートが冷めてから、付属の金たわしやプレートスクレーパーで軽くこすって、カス落とし口よりカス受けトレイに落としてください

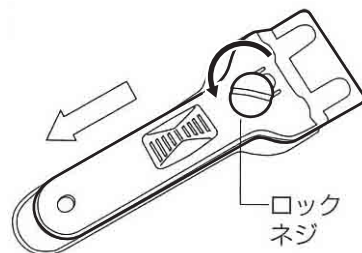
### ⚠ 注意

-  焼成プレートが熱いうちは、直接焼成プレートに触らないことやけどの原因になります。
-  焼成プレートは、プレートスクレーパーの角でこすったり、金たわしで強くこすったりしないこと  
焼成プレートに傷がつくと、割れの原因になり、ケガをする恐れがあります。
-  プレートスクレーパーの刃は、鋭利ですので、取り扱いには充分注意すること  
ケガをする恐れがあります。
-  プレートスクレーパーの使用後は、必ず刃を収納すること  
誤って刃に触れた場合、ケガの原因になります。



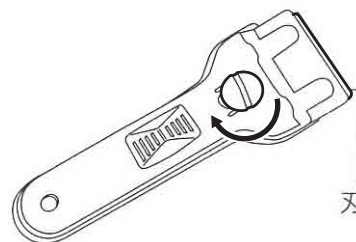
### スクレーパーの刃の出ししかた

プレートスクレーパーを使用するときは、ロックネジをマイナスドライバーまたはコインなどで反時計方向に少し回してゆるめ、突起部に指をかけ、矢印方向に引いてください



先端から刃が出ましたら、ロックネジを時計方向に回して固定してからご使用ください

使用後は、逆の手順で必ず刃を収納してください。



### お願い

焼成プレートが汚れたときは、すぐに清掃するようにしてください。  
→ 「お手入れについて」(12ページ)参照

- 10 調理終了後は、温度設定ダイヤルを「OFF(切)」の状態にしてください  
ヒーター作動ランプが消灯します。

- 11 電源スイッチを押して「OFF(切)」にし、本機の専用電源も切ってください

PGS-1(100)の場合  
専用コンセントから電源プラグを抜いてください。

PGS-2の場合  
本機専用電源を「OFF(切)」にしてください。



**お願い**

調理終了後は、必ず押付けレバーを静かに下げて、上部焼成プレートを下ろしておいてください。

# お手入れについて

いつも清潔にご使用いただくため、次のような場合は、下記の手順に従って、必ずお手入れをおこなってください。

初めて機械を使用する場合。  
調理終了後、毎回。

## ⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、漏電、錆、故障の原因になります。

## ⚠ 注意



PGS-1(100)は、お手入れのときや点検の際、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くこと

PGS-2は、お手入れのときや点検の際、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、専用電源も「OFF(切)」にすること

感電、やけどの原因になります。



焼成プレートが熱いうちは、直接焼成プレートに触らないこと

やけどの原因になります。

## お願い

食器洗浄機は、ご使用にならないでください。機械の故障の原因になります。

清掃後、保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の錆、および腐食の原因になりますので使用しないでください。

- 1 電源スイッチを押してOFFにし、本機専用電源も「OFF(切)」にしてください
- 2 焼成プレートが熱くない(冷めている)状態で、焼成プレートに付着した食材を付属の金たわし(上部用)やプレートスクレーパー(下部用)で軽くこすり、カス落とし口に落とし込んでください

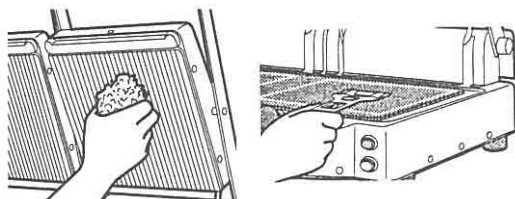
カス落とし口に落とし込んだ食材は、カス受けトレイにたまります。

## ⚠ 注意

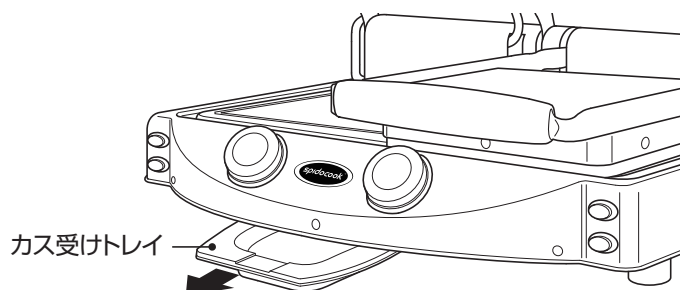


焼成プレートは、プレートスクレーパーの角でこすったり、金たわしで強くこすったりしないこと

焼成プレートに傷がつくと、割れの原因になり、ケガをする恐れがあります。

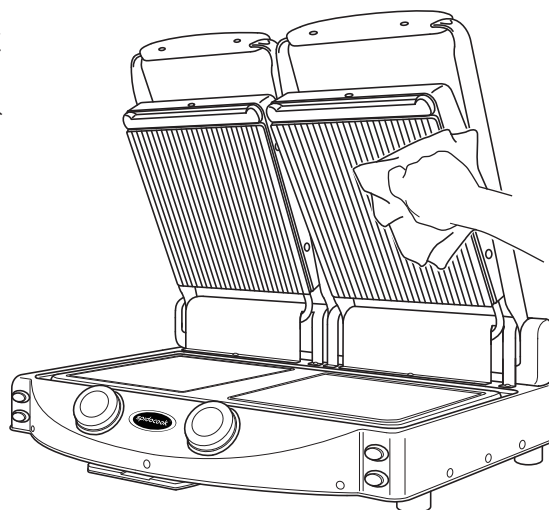


### 3 カス受けトレイを手前に引き出して、たまった食材をすててください



### 4 水で固くしぼった柔らかい布などで、焼成プレート、カス受けトレイ、外装部の汚れをふき取ってください

汚れがひどい場合は、中性洗剤を布などに含ませて汚れをふき取ってください。  
水で固くしぼった柔らかい布で、洗剤成分をきれいにふき取ってください。



#### お願い

本機のステンレス部は、付属のプレートスクレーパーやの金たわし、研磨剤などは、使用しないでください。

傷がつくと、錆の原因になります。

焼成プレート表面の保護のため、表面を調理オイル(オリーブオイル等)を薄く塗ってください。

清掃後は、押付けレバーを静かに下げて、上部焼成プレートを下ろしておいてください。

# 据付けについて

## ⚠ 警告



水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと  
本体や電源コードに水がかかると、漏電、感電の原因になります。



PGS-1(100)の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに接続すること

PGS-2の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

## ⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガや故障の原因になります。



本機の外側も使用中に高温になりますので、風通しのよい所で、本機の周囲は100mm以上空けること

熱がこもると、電気部品に影響をおよぼし、火災の原因になります。



本機は、不燃製(ステンレスなど)の据付け台に据え付けること

火災の原因になります。



本機の上や下に可燃性のものを置かないこと

火災の原因になります。

## 電源設備

下記の設備が必要です。

PGS-1(100) …… 100V 50/60Hz 1.4kVA

PGS-2 …… 単相 200V 50/60Hz 2.3kVA

本機は、電源に近いところに据え付けてください。

電源コードの長さは、1.2mです。

## 電気配線

PGS-1(100)の場合

機械背面にあるアース端子にアース線を接続し使用してください。

PGS-2の場合

電源コードを本機専用電源に接続してください。

電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。

アース線を(緑色の線)をアース端子に接続してください。

メモ

| 品 名        | パニーニ・グリラー                                                         |                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 型 式        | PGS-1(100)<br>(1連式)                                               | PGS-2<br>(2連式)                                                    |
| 外 形 寸 法    | 幅 330・奥行 445・高さ 180mm<br>(突起物を含む 奥行460mm)<br>(上部焼成プレート開時 高さ530mm) | 幅 620・奥行 445・高さ 180mm<br>(突起物を含む 奥行460mm)<br>(上部焼成プレート開時 高さ530mm) |
| 電 源        | 100V 50/60Hz                                                      | 単相 200V 50/60Hz                                                   |
| 電 流        | 14 A                                                              | 11.5 A (5.75 A + 5.75 A)                                          |
| 消 費 電 力    | 1.4 kW                                                            | 2.3 kW (1.15 kW+1.15 kW)                                          |
| 温 度 範 囲    | OFF、120℃～400℃                                                     |                                                                   |
| 材 質        | 本体：ステンレス<br>上部焼成プレート：セラミックガラス(山波形)<br>下部焼成プレート：セラミックガラス(平面形)      |                                                                   |
| 焼成プレート寸法   | 上部：幅250・奥行250mm × 1<br>下部：幅250・奥行250mm × 1                        | 上部：幅250・奥行250mm × 2<br>下部：幅545・奥行245mm × 1                        |
| 焼成プレート有効寸法 | 下部：幅225・奥行225mm × 1                                               | 下部：幅225・奥行220mm × 2                                               |
| 電 源 コ ー ド  | 長さ：1.2 m                                                          | 長さ：1.2 m<br>3心(1心はアース線) 外径φ9.5mm                                  |
| 質 量        | 10kg                                                              | 17kg                                                              |

※ 上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

## 梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

| 内容物        | 個数  |
|------------|-----|
| 本体         | 1 個 |
| カス受けトレイ    | 1 枚 |
| プレートスクレーパー | 1 本 |
| 金たわし       | 1 個 |
| 取扱説明書(本書)  | 1 冊 |

# 保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。  
保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。  
返信ハガキは商品ご購入後、 1 か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

|      |   |
|------|---|
| 金たわし | — |
|------|---|

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

# 株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>